

1 花巻市の公共施設等総合管理計画の取組みについて

本市では、平成 28 年度に予定している「公共施設等総合管理計画」の策定に先立ち、本年度において、計画検討の基礎資料となる【花巻市公共施設白書 2015】の作成を進めています。

この白書は、将来的な人口構造の変化や施設の今後の建替え・大規模改修等にかかる経費の試算等を交えつつ、市が保有する公共施設の実態を客観的に洗い出し、将来にわたり適切な公共サービスの提供と持続可能な財政運営を両立させるために、今後の維持管理・運営のあり方を検討する起点となるものであります。

1 公共施設等の状況（平成 27 年 4 月 1 日現在）

（1）建物施設の状況

①保有状況

・施設数：642 施設、棟数：1,707 棟、延床面積：52 万 7 千㎡

②経過年数別床面積の構成比

・築 30 年未満 55.2%、築 30 年以上 44.8%

③人口一人当たりの延床面積

・花巻市：5.31 ㎡（全国平均：3.78 ㎡）

④耐震化の状況

・耐震化率：88.7%

⑤現状と課題

- ・花巻市の人口一人当たりの延床面積は 5.31 ㎡で、全国平均の 3.78 ㎡を上回っており、数字上は過大な傾向にあります。
- ・今後 10 年間で約 7 割の施設が築 30 年以上となることから、維持管理費の増大と安全性・機能性の低下が懸念されます。

（2）インフラ施設の状況

①道路・橋りょう

・道路延長：3,308 km、橋りょう数：1,029 橋

②下水道

・下水道管延長：897 km

③現状と課題

- ・本市は全国的にも広大な市域を有しているため、それを支えるインフラ施設も大きくなる傾向にあります。
- ・下水道は比較的新しい状況にあるが、道路・橋りょうは建設後 30～50 年の期間を経過していることから、今後急速に老朽化が進行すると予測されます。

（3）公共施設等の将来更新費用の試算※

①建物施設

- ・今後 40 年間で更新にかかる費用は約 1,937.6 億円（年平均は約 48.4 億円）
- ・過去 5 年間の投資的経費の年平均は約 27.0 億円

②インフラ施設

- ・ 今後 40 年間で更新にかかる費用は約 1,772.9 億円（年平均は約 44.3 億円）
- ・ 過去 5 年間の投資的経費の年平均は約 36.3 億円

③建物施設＋インフラ施設

- ・ 今後 40 年間で更新にかかる費用は約 3,710.5 億円（年平均は約 92.7 億円）
- ・ 過去 5 年間の投資的経費の年平均は約 63.3 億円

※将来更新費用の試算は、総務省推計ソフトに基づき現状ある全ての施設を同規模で更新すると仮定し、試算しています。

2 今後の取組みについて

この公共施設白書を作成したことで、現状のままの施設を維持することが難しいという課題があきらかになってまいりました。こうした課題に対応するため、平成 28 年度に将来の公共施設の更新や管理運営の基本方針となる「公共施設等総合管理計画」を策定いたします。

なお、計画策定にあたっては、公共施設の現状と課題を市民の皆さまと共有するよう情報発信に努めるとともに、多くのご意見をお聞きしながら進めてまいります。

また、計画策定した次の段階では、基本方針に基づいた具体的な計画となる「個別施設計画」の策定を予定しております。

〈担当 財務部 契約管財課 公共施設計画策定室 24-2111 内線363〉